

☆ 保護者のみなさまへ ☆

保護者が寄り添い、見守り、「自分の力でコントロールできる18歳」に向けた準備を！

「適度なサポート」が「正しい自立」を促します。「困ったことがあればいつでも保護者に相談する」等、まずは小さなルールを守って行動することが安全の第一歩です。「決まりを守る」ことが「自分を守る」ことにつながります。

〈参考〉内閣府「青少年の保護者向け普及啓発リーフレット（令和4年1月版）」

ご覧いただいて分かりますように、スマートフォンは便利ではありますが、使い方次第では、トラブルにつながります。それではいったい、どうすればよいのでしょうか。

それは、「わが家のルール」をお子様と一緒に考え、決めておくことです。お子様とルールを考える際のポイントは、スマートフォンのルール・マナー＝社会のルール・マナー（行動規範）だと捉え、このルール設定と使い方を通して、お子様を成長させるということです。そのため、お子様の成長に応じたルールの見直しを適宜行っていただくことも必要です。

スマートフォンを渡す前提条件

- ①スマートフォンはあなたの物ではなく、親の所有物であることを確認する。
- ②使ってよい時間や場所、目的を具体的に話し合っておく。
- ③守ることができなかつたらどうするのかを話し合っておく、決めた約束などは厳密に守らせる。

「わが家のルール」(例)

- フィルタリングサービスを利用します。
- 使用時間は、1日□分(□時間)まで。
- パスワードを親に伝えます。
- 家ではリビングだけで使い、寝る時は親に預けます。
- 知らない人とは通信しない、会いません。
- ルールを守らなかつたら、△日間、親に預けます。

☆これまでのことを参考に、「わが家のルール」をお子様と一緒に考え、決めてみましょう。☆

「わが家のルール」

＜お問い合わせ先＞ 福岡県教育庁北九州教育事務所 社会教育室
〒822-0031 福岡県直方市大字植木1047-1 TEL 0949-25-1205

安全に 使おう！ スマホ・ネット

～スマホ時代の危険から
お子様を守るために～



青少年のスマートフォンの利用内容（令和4年3月内閣府調査）

(%)	交換やメッセージ	投稿やメッセージ	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	記録や撮影をする
小学生	46.4	15.5	59.8	16.2	47.3	76.9	3.5	9.9	61.2	2.4	17.2	20.2	
中学生	79.4	43.1	82.2	40.0	80.8	88.0	13.8	29.2	70.2	13.0	44.1	31.1	
高校生	85.9	53.1	86.0	60.6	88.9	93.2	20.6	46.0	74.2	35.0	52.0	39.7	

※ は利用頻度上位です。

スマホは楽しくて
便利なんだけど...

長い時間使っても
大丈夫？...

SNSでどんな
やり取りをして
いるのかしら？...

お子様のスマートフォン利用について、
不安はありませんか？

スマートフォンを利用する メリット



様々な人と交流することができる。
通話だけでなく、アプリやメール等を活用して
情報を交流したり、共有したりすることができる。



学習に利用することができる。
検索や学習アプリの利用など、学習に
役立てることができる。



世界とつながることができる。
世界中の情報が簡単に手に入り、自ら
発信することもできる。



楽しみを広げることができる。
気軽に、いつでも楽しい時間を過ごす
ことができる。

スマートフォンを利用する デメリット

目的ごとの青少年の平日1日あたりの利用時間（令和4年3月内閣府調査）

勉強・学習・知育	趣味・娯楽	コミュニケーション
60. 8分	164. 7分	55. 7分

平日1日あたり、

趣味、娯楽、コミュニケーション（LINEなど）に
利用する平均の合計時間は、**220.4 分** になります。



勉強時間が減る、
長時間利用による心や
体への悪影響もある。

時間!



SNS 等で知らない人と
やり取りをする危険性
もある。



うっかり「？」をつけ忘れたために



一方的にグループから外されてしまった

人間関係!

うっかりや誤解
から、いじめに
発展すること
もある。



占いアプリで趣味嗜好を入力し



大量の迷惑メールが届くようになった

個人情報!

個人情報を入力する
ことで、トラブルに
巻き込まれること
もある。

スマート フォンの 時間を 置き換えて みましょう!

親子コミュニケーションの時間に!

- お手伝い（子供に役割を与え称賛する）
⇒自己有用感、チャレンジする意欲
- 読書活動や対話（読み聞かせ、親子で読書）
⇒語彙の獲得、心の安定、豊かな情操

up!

手伝ってくれてありがとう！
うれしいな！



また読みたいな



体験活動の時間に!

- 地域活動（子ども会、PTA行事、通学合宿）
⇒創造力、社会性、自立心
- 自然体験（社会教育施設での体験教室）
⇒思いやりの心、知的好奇心

up!



面白いな！
もっと試してみよう！



〈参考〉福岡県立社会教育総合センター
「令和3年度幼児（3・4・5歳児）を養育する保護者の家庭教育に関する調査報告書」